

教育委員会

教育総務課 (☎73-8806)

◆芦刈小学校建設事業として・・・1,953万3千円

安心して学べる教育の場の確保と情報教育や地域開放等に対応した教育環境の充実を図るため、老朽化した芦刈小学校の校舎、体育館及び給食室の改築を行います。

この事業は、平成22年度から平成25年度までの4か年度の事業として、今年度は、小学校改築の基本計画策定や給食室改築の設計、地質調査・敷地測量等を行います。



芦刈小学校校舎（北から望む）

☆牛津中学校建設事業として・・・7億6,253万3千円

安心して学べる教育の場の確保と情報教育や地域開放等に対応した教育環境の充実を図るため、老朽化した牛津中学校の校舎改築を行います。

この事業は、平成20年度から平成22年度までの3か年度の継続事業として、今年度は、北側の特別教室棟の改築及び仮設校舎の解体工事等を行います。



牛津中学校校舎（北から望む）

学校教育課 (☎73-8807)

◆学校ICTアドバイザー派遣事業として・・・917万4千円

学校教育の情報化の推進・子どもたちの情報活用能力の育成のため、コンピューターの取扱能力の高い方（ICT支援員）を小・中学校へ配置します。



☆英語教育支援事業として・・・2,133万6千円

小学生には、外国人との触れ合いやコミュニケーションなどの体験をとおして、異文化への興味や関心の高揚を図ります。

また、中学生には、英語の授業における実践的なコミュニケーション能力などの向上を目指し、国際感覚を身につけた子どもの育成を図ります。



☆フッ化物洗口事業として・・・79万6千円

市内の全小学校において、フッ化物応用の洗口による歯質強化等でむし歯を予防して、歯科保健の水準向上を図ります。



◆砥川小学校給食室整備事業として・・・3,126万5千円

市内の学校給食の均衡を図るため、牛津地区の給食運営形態を見直し、砥川小学校より牛津中学校の給食配送に必要となる食器類や調理器具類などを整備します。

☆放課後児童健全育成事業として・・・4,313万1千円

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学3年生までの児童に対し、放課後の安全な生活の場を提供することにより、児童の健全な育成と保護者の子育てを支援します。

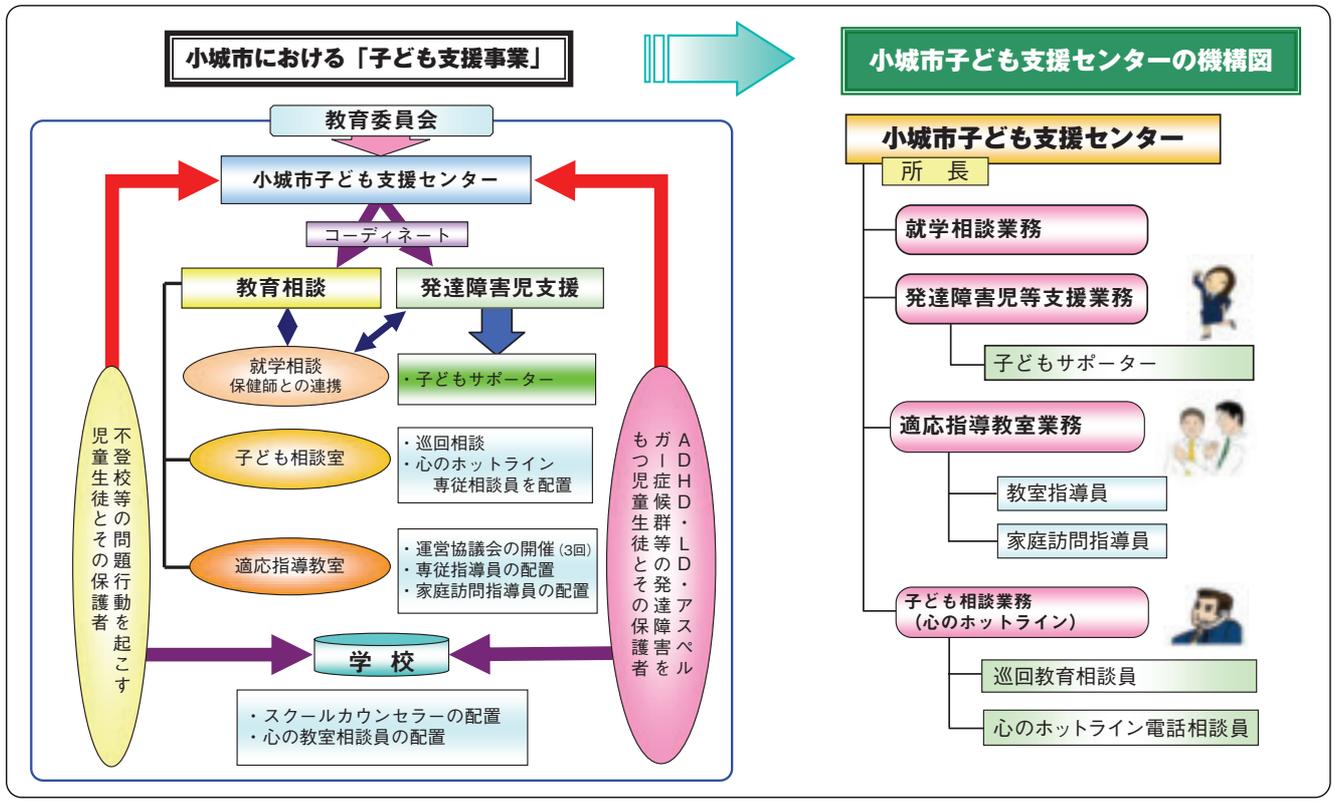


☆子ども支援事業として・・・5,454万1千円

子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育支援を行います。

【具体的な事業内容】

- 相談業務：子ども支援センターでは、電話相談や面談等で様々な教育相談に対応しています。また、ケースによっては指導員が学校や家庭に出向き教育相談等を行います。
- 適応指導教室：永岡荘（小城市内の公共施設）内に適応指導教室「ほたる」の開設により、不登校の子どもたちに対して少人数による集団活動の体験や、子ども同士または指導員との関わりを通して社会への適応力を身につける機会をつくり、学校復帰に向けた支援を行います。
- 子どもサポーター：教育委員会より小・中学校へ配置し、様々な理由により学校生活を営む上で集団への不適応感がある児童・生徒に対して適切な支援を行います。



こども課 (☎73-8821)

☆子育て相互支援事業（ファミリーサポートセンター）として・・・811万1千円

安心とゆとりを持って子育てができる環境づくりを進めるため、子育ての支援を受けたい人が、子育てサポーター（子育て支援を出来る人）からの支援を受けられます。仕事と育児の両立を支援し、子育てしやすい地域づくりを目指します。



☆認可外保育施設職員等健康診断費等補助事業として・・・172万円

市内の認可外保育施設に通園する園児等の健康の確保を図るため、認可外保育施設の園児・職員の健康診断や園児の損害保険料、安全施設整備・保育環境整備に必要な費用の一部を補助します。



☆特別保育事業補助として・・・1,705万円

児童福祉の増進・子育て支援の充実を図るため、地域における保育需要に対応した延長保育、異年齢交流、世代間交流事業などを実施する市内の私立保育園にその一部を助成します。



◆子ども手当支給事業として・・・9億3,980万2千円

次世代を担う子どもたちを社会全体で支えるため、中学校終了までの子ども1人につき月額13,000円の「子ども手当」を支給します。支給月は、6月・10月・2月の年3回で、それぞれ前月分までの4か月分を支給します。



☆乳幼児医療費助成事業として・・・8,522万6千円

乳幼児の疾病の早期発見と治療を促進するため、乳幼児の医療に要する自己負担金の一部を助成します。

3歳未満児は、1か月あたり1医療機関ごとに1人300円の自己負担で受診できます。また、3歳以上就学前児童については、入院・通院とも1か月あたり1人500円を控除した医療費を全額助成します。



☆「地域遊ばせ、親子交流させ、子育て」相談事業として・・・262万7千円

育児不安の解消等の子育て支援を図るため、アイルや児童センターで子育て中の親や子どもが自由に遊び交流する場を提供するとともに、相談事業、講座などを開催します。



児童センター

☆子育て短期支援事業として・・・22万7千円

児童及びその家庭の福祉の向上を図るため、保護者の疾病等により家庭で児童を養育することが困難となった場合等に児童福祉施設において、一定期間養育を行うことができるように支援します。

◆保育園民営化事業として・・・1億5,644万8千円

保護者の就労形態や生活スタイルの多様化に伴う一時保育や延長保育、休日保育などの保育サービスに応えるため、小城市立保育園民営化計画に基づき、民間活力を活用した牛津保育園の民営化を進めています。

平成23年度に牛津地区内への民間認定こども園の開所をめざし、施設整備、用地取得及び造成工事などに必要な費用の一部を補助します。



牛津保育園

☆特別支援幼児教育事業として・・・1,453万7千円

発達障害などのある幼児の生活習慣や学習上の困難を改善・克服するため、幼稚園教諭と一緒に援助を行う発達障害児対応の補助者を配置します。また、今年度は、ティーム・ティーチングのモデル園として三日月幼稚園に教諭を配置します。



☆子どもの安全確保事業として・・・28万4千円

子どもを対象とした声掛け事案等が発生した際に、登録者（保護者等）の携帯メールに緊急情報を発信するための事業です。幼稚園保護者及び保育園保護者の方にメール配信サービスを行っています。



☆3世代ふれあい交流事業として・・・8万円

核家族の増加により祖父母との関係が希薄となり、話し合いの場や知恵・知識を吸収する場が少なくなっていることから、老人クラブ等の協力を得て、祖父母・親子のふれあいを深め、3世代の楽しさや良さを見直すきっかけづくりを進めます。



☆児童扶養手当として・・・1億8,012万4千円

☆市内の私立保育園及び市外の保育園（市内に住む園児が通うための費用）に支払う
保育所運営費として・・・4億3,730万円

生涯学習課（☎73-8808）

◆早寝・早起き・朝ごはん運動啓発事業として・・・60万5千円

青少年の健全な育成を推進するため、児童・生徒や市民の皆さんから「早寝・早起き・朝ごはん運動」の標語や絵を募集し、啓発活動としてカレンダーを作成・配布するとともに、児童・生徒の家庭内での取組みを促進します。



☆小城市体育協会運営事業として・・・2,210万6千円

地域のスポーツの振興を図るため、小城市体育協会と連携し各地域でスポーツ大会・スポーツ教室などを開催しています。また、加盟団体とスポーツクラブの育成及び市民体育大会や芦刈ムツゴロウロードレース大会等を開催するなど市民の健康の維持と体力の向上を目指します。



小城市体育協会運営事業

◆家庭教育支援事業として・・・7万円

青少年の健全な育成を目指し、小学生とその保護者を対象に、家庭教育の重要性を再認識するとともに、ふれあいを通して親子の絆を深める機会として「親子マナー教室」を開催します。

☆放課後子ども教室事業として・・・226万3千円

子どもたちが地域の社会の中で、集団活動における規律や協調性などを学び、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、各公民館では、おぎチャレンジスクールや三日月わんぱく探検隊、津の里ミュージアム、芦刈チャレンジスクールなど地域の特性に応じた「子ども教室」を開催します。



放課後子ども教室事業

☆サガントス交流宣言スポーツ振興事業として・・・90万円

教育、文化及びスポーツの振興を推進するため、サガントスによるスポーツ振興の講演やサッカー教室などの開催、市による観客動員数の増加につながる広報活動を展開し、交流と連携による小城市の「未来づくり」とサガントスの「夢と幸せづくり」、2010年のスローガン「夢一岩」に向けた事業に取り組みます。



サガントス交流事業

文化課（☎73-8809）

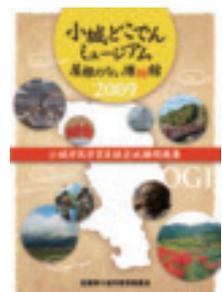
☆高度芸術鑑賞事業として・・・198万2千円

市民のみなさんに多様な芸術・文化の鑑賞機会を提供するため、絵画展（年1回1か月間程度の開催）と音楽鑑賞会を開催します。



☆中林梧竹特別展事業として・・・121万6千円

市民の皆さんに多様な芸術・文化の鑑賞機会を提供するため、中林梧竹の業績を紹介する作品の展示とともに、特別展とあわせて記念講演会を開催します。



☆屋根のない博物館事業として・・・292万8千円

小城市全域を博物館とみなし、市内各所にある文化財（文化資源）の掘り起こしや、一体的な修復、整備、活用を図ります。今年度は、昨年度に引き続き、我が家のお宝展や文化財説明板の整備に加え、小・中学校の副教材として「小城読本（仮称）」を作成します。

☆小城市民図書館（小城・三日月図書館・牛津・芦刈分室）の運営費として・・・8,017万2千円